



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03(3454)4907
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	9,536	△8.7	△1,094	—	△822	—	△819	—
2019年9月期第3四半期	10,445	△6.2	△6,707	—	△6,358	—	△6,537	—

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 △818百万円 (—%) 2019年9月期第3四半期 △6,529百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	△8.82	—
2019年9月期第3四半期	△71.95	—

(注) 2019年9月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年9月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	15,842	10,042	63.2
2019年9月期	17,199	10,834	62.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 10,018百万円 2019年9月期 10,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2020年9月期の連結業績予想は、ヘルスケア事業の広告宣伝および販売促進活動への投資進捗により業績が変動しうること、ならびに新型コロナウイルス感染拡大の今後の影響についても依然不透明であることから、引き続き「未定」とし、適切な業績予想が開示可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	92,935,822株	2019年9月期	92,928,322株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	56,459株	2019年9月期	89,749株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	92,858,252株	2019年9月期3Q	90,870,350株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度において、2020年5月15日に発表した「通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、上半期に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大によって、今後の当社グループ事業への影響は不透明性があるものの、消費者における外出自粛による通販需要の拡大や、健康意識の向上による健康食品需要の拡大といったトレンドは、通信販売や健康食品販売といったヘルスケア事業を主力とする当社グループにとって成長機会となるものと見込んでおります。

また、当社グループとしては、上半期において、ヘルスケア事業の直販チャンネルにおける広告宣伝投資の採算管理の強化や有期間定期顧客割合の増加による定期購入継続率の改善が進んだこと、ならびに主力の健康食品ラインアップをユーグレナ食品ブランド「からだにユーグレナ」としてリニューアルし、素材や商品の認知拡大に向けたマーケティング施策を展開する体制が整ったことを踏まえ、下半期において、厳格な採算管理を維持した上で、固定的な投資予算額は設定せずに広告宣伝および販売促進活動への投資を機動的かつ積極的に実施しております。

なお、エネルギー・環境事業においては、2018年10月に竣工したバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント（以下「実証プラント」）の本格稼働、そしてバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みにより、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。

当第3四半期連結累計期間は、ヘルスケア事業において厳格な採算管理を維持した上で、広告宣伝および販売促進活動への投資を機動的かつ積極的に実施し、同事業のセグメント利益は121,721千円（前年同期比84.4%減）と縮小したことに加え、エネルギー・環境事業において実証プラントの本格稼働に至ったことで、同事業のセグメント損失551,698千円を計上しました。その結果、売上高は9,536,191千円（前年同期比8.7%減）、営業損失は1,094,066千円（前年同期は営業損失6,707,934千円）、経常損失は822,046千円（前年同期は経常損失6,358,770千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は819,067千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6,537,966千円）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間から当第3四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下のとおりです。

	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間
売上高（千円）	3,526,338	3,522,207	3,219,103	2,862,819	3,454,269
営業損益（千円）	△184,041	△752,209	△244,341	△115,791	△733,932
経常損益（千円）	△2,692	△714,655	△216,393	78,793	△684,446

注）前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の数値を記載しております。

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

当第3四半期連結累計期間は、直販チャンネルにおいて、当第3四半期連結会計期間より新規購入顧客獲得のための広告宣伝投資を厳格な採算管理の下で積極化したことに加え、3か月・6か月の有期間の定期購入の割合増加により定期購入継続率が改善した結果、減少を続けていた定期購入顧客数は純増に転じました。広告宣伝投資の積極化により当第3四半期連結会計期間はセグメント利益が縮小するものの、純増に転じた定期購入顧客からの購買による収益貢献を2021年9月期に見込んでおります。中長期的な事業成長に必要な素材認知と企業ブランドの確立に向けたマーケティング施策の準備を進め、2020年3月に「ユーグレナの緑汁」や「飲むユーグレナ」などの既存の主力食品商品群を、新たなユーグレナ食品ブランド「からだにユーグレナ」としてリニューアルいたしました。素材認知の観点では、同年5月にヒト臨床試験によって、石垣島ユーグレナの継続摂取が、現代人が抱える複合的な健康不安を解決し根本から健康へ導く可能性があることを確認した研究成果を発表し、同年6月には石垣島ユーグレナが持つ複数の特長とその最新の研究成果を伝えるTVCMを放映いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、セグメント売上高9,523,126千円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は121,721千円（前年同期比84.4%減）となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に、2018年10月に竣工した実証プラントの本格稼働を進めております。研究開発活動については、2019年11月に、伊藤忠商事株式会社とともに、バイオ燃料用と飼料用の微細藻類ユーグレナの海外培養実証事業を、インドネシア共和国に続き、コロンビア共和国においても開始しました。また、三重県多気郡多気町において、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を実施しております。

当第3四半期連結累計期間は、2020年1月にバイオジェット燃料の製造技術の国際規格であるASTM D7566規格の新規格の取得の完了を発表しました。バイオジェット燃料の製造・供給に向けた準備および関係各所との協議を進めておりますが、バイオジェット燃料を使用した有償フライトの実現の方針は変更しないものの、有償フライトの実施スケジュールについては、新型コロナウイルス感染症拡大に関する関係者の状況に配慮し、柔軟に対応してまいります。また、2020年3月にいすゞ自動車株式会社とともに、次世代バイオディーゼル燃料の完成と燃料供給開始を発表しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、セグメント売上高は13,065千円(前年同期比54.0%減)、実証プラントの本格稼働に向けた準備費用の計上等により、セグメント損失551,698千円(前年同期はセグメント損失6,831,017千円)となりました。なお、前年同期は実証プラントの建設費用6,370,841千円を研究開発費として全額費用計上しており、前年同期比において、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失は縮小しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は15,842,987千円となり、前連結会計年度末と比較して1,356,461千円の減少となりました。

負債は、主に未払金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末から564,524千円減少し、5,800,543千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末から791,937千円減少し、10,042,443千円となりました。この結果、自己資本比率は63.2%となりました。

当連結会計年度は、ヘルスケア事業において、新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しに伴う売上高の減少を見込む一方で、エネルギー・環境事業において、実証プラントの本格稼働に伴う運転資金の支出が予定されておりますが、十分な手元資金を確保していることから事業の進捗に重要な影響はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想は、ヘルスケア事業の広告宣伝および販売促進活動への投資進捗により業績が変動しうること、ならびに新型コロナウイルス感染症拡大の今後の影響についても依然不透明であることから、引き続き「未定」とし、適切な業績予想が開示可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,832,985	6,593,655
受取手形及び売掛金	1,078,143	1,154,043
商品及び製品	1,110,256	915,722
仕掛品	53,343	49,827
原材料及び貯蔵品	874,341	887,557
その他	242,810	657,200
貸倒引当金	△8,556	△8,727
流動資産合計	11,183,325	10,249,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,035,798	3,059,472
機械装置及び運搬具	1,434,113	1,485,737
工具、器具及び備品	384,956	384,346
土地	900,520	900,520
リース資産	28,201	25,994
建設仮勘定	6,967	5,621
減価償却累計額	△2,200,734	△2,463,807
有形固定資産合計	3,589,824	3,397,885
無形固定資産		
のれん	1,112,546	995,734
その他	536,085	532,369
無形固定資産合計	1,648,632	1,528,103
投資その他の資産		
投資有価証券	430,788	317,732
差入保証金	254,988	261,979
繰延税金資産	14,977	7,711
その他	76,911	80,294
投資その他の資産合計	777,665	667,718
固定資産合計	6,016,122	5,593,707
資産合計	17,199,448	15,842,987

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	379,734	383,748
短期借入金	470,843	470,289
未払金	939,644	1,151,063
リース債務	647	291
未払法人税等	241,886	—
資産除去債務	—	24,620
賞与引当金	39,760	31,500
ポイント引当金	43,236	25,185
その他	354,257	301,122
流動負債合計	2,470,008	2,387,820
固定負債		
長期借入金	3,190,385	2,836,943
リース債務	315	97
退職給付に係る負債	16,168	19,313
資産除去債務	410,280	399,055
繰延税金負債	272,874	153,313
その他	5,035	4,001
固定負債合計	3,895,059	3,412,723
負債合計	6,365,067	5,800,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,318,148	7,318,328
資本剰余金	11,880,107	2,224,423
利益剰余金	△8,224,708	582,915
自己株式	△150,597	△94,737
株主資本合計	10,822,948	10,030,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,374	△1,708
為替換算調整勘定	△10,143	△10,425
その他の包括利益累計額合計	△11,517	△12,133
新株予約権	15,219	15,130
非支配株主持分	7,730	8,517
純資産合計	10,834,380	10,042,443
負債純資産合計	17,199,448	15,842,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,445,463	9,536,191
売上原価	2,875,895	2,811,713
売上総利益	7,569,568	6,724,477
販売費及び一般管理費	14,277,502	7,818,543
営業損失(△)	△6,707,934	△1,094,066
営業外収益		
受取利息	1,579	2,335
助成金収入	295,061	254,974
受取手数料	17,000	11,250
持分法による投資利益	16,664	—
その他	34,804	36,056
営業外収益合計	365,110	304,616
営業外費用		
支払利息	8,970	8,159
借入金繰上返済費用	3,358	—
持分法による投資損失	—	21,683
その他	3,618	2,753
営業外費用合計	15,946	32,597
経常損失(△)	△6,358,770	△822,046
特別利益		
新株予約権戻入益	490	88
固定資産売却益	1,249	365
持分変動利益	—	12,856
負ののれん発生益	5,384	—
特別利益合計	7,125	13,310
特別損失		
関係会社株式評価損	—	1,027
特別損失合計	—	1,027
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,351,644	△809,763
法人税、住民税及び事業税	208,312	120,732
法人税等調整額	△25,274	△112,130
法人税等合計	183,038	8,602
四半期純損失(△)	△6,534,683	△818,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,283	701
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,537,966	△819,067

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△6,534,683	△818,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	△333
為替換算調整勘定	5,506	216
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△413
その他の包括利益合計	4,999	△530
四半期包括利益	△6,529,684	△818,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,536,018	△819,683
非支配株主に係る四半期包括利益	6,333	787

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月20日開催の第15期定時株主総会において、欠損補填を目的とする資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議し、2019年12月20日を効力発生日として資本準備金9,655,863千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えました。

また、会社法第452条規定に基づき、その他資本剰余金9,655,863千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本準備金2,224,243千円、利益剰余金582,915千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,417,056	28,407	10,445,463	—	10,445,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,417,056	28,407	10,445,463	—	10,445,463
セグメント利益又は損失(△)	778,903	△6,831,017	△6,052,113	△655,820	△6,707,934

(注)1. セグメント利益または損失(△)の調整額△655,820千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の数値を記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ヘルスケア事業において、株式会社MEJを子会社化したことにより、のれんが578,934千円増加しております。なお、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の数値を記載しております。

(重要な負ののれん発生益)

ヘルスケア事業において、スポーツ・イノベーション株式会社を吸収合併したことにより、負ののれん発生益5,384千円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,523,126	13,065	9,536,191	—	9,536,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,523,126	13,065	9,536,191	—	9,536,191
セグメント利益又は損失(△)	121,721	△551,698	△429,976	△664,089	△1,094,066

(注)1. セグメント利益または損失(△)の調整額△664,089千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2019年6月1日に行われた株式会社MEJとの企業結合について前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、企業結合日において暫定的に算定されたのれんの金額568,505千円は、10,428千円増加し、578,934千円となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書へ与える影響は軽微であります。